

OCFセミナー2024

ご質問・ご意見

一般社団法人OCF BIM/CIM委員会

御質問

	質問者	質問	回答	回答者
1	OCF	過年度成果を分析した結果、地質・土質調査のBIM/CIM成果も多くみられ、後工程で活用出来そうな情報も確認出来た。その一方で地質・土質のBIM/CIMデータの交換はオリジナルデータのみとなっており利活用が進んでいないと感じるが、今後どのような方向性が教えて欲しい。	地質は施工段階における増額要因としても大きな理由の一つであり、地質・土質データの活用は重要と認識している。現在各団体と調整して進めているBIM/CIM取扱要領の目処が立った段階で関係機関と調整する予定。なお、国交省より先行して東大のi-con寄付講座でも議論が進められていると認識している。	樹谷専門官
2	リモート参加者	ゼネコン側ですが、BIM/CIM活用工事を受注した際にはコンサルから提供された2D配筋図をもとに3Dモデルを作成し、干渉チェックを行っています。しかし、2D配筋図を3D化すると、干渉が多く発生したり、ピッチや線分のズレが原因で現場との整合性が取れないことがしばしばあります。実際の現場では鉄筋を現地で調整することが前提となるため、干渉がある状態をそのままモデル化しても実用性に乏しく、時間をかける割に効果が薄いと感じています。こうした状況では、生産性の向上を目指すBIM/CIM活用の本来の目的とは逆行しているようにも思われます。また、この問題は、業界全体で広く発生している可能性が高いと考えています。一方で、コンサル側で作成するとしても設計段階での3D化や整合性確保に対する負担が大きく、簡単に解決できる問題ではないことも理解しています。とはいえ、双方にとって効果的な方法を模索するため、早急に業界全体での対策を講じる必要があるのではないのでしょうか。	BIM/CIM作成要領の検討に当たり各団体との意見交換を実施した際、コンサル側で配筋モデルを作成してほしいという意見もでており、現時点で誰が作るかについて結論は出ていない。工種によって考え方が変わるのではないかとと思うが、各団体と丁寧に議論を継続していくこととしている。	樹谷専門官
3	OCF	3次元と2次元の整合をとる際、AR等の活用事例、好事例があると良い。	試行業務の中で事例を増やし、結果については公開していきたい。	樹谷専門官
4	OCF	「デジタルデータを活用した監督検査等の実施について（試行）、R6.10.31付け」に関する事務連絡は公表して問題ないのですか？	HPで公表済み。積極的に周知いただきたい。 https://www.mlit.go.jp/tec/content/001842892.pdf	樹谷専門官
5	アンケート回答者	ICT施工が標準化されることにより、費用等が今までに比べ減額されるのではないかとと思われるが、いかがでしょうか。	積算については、実態調査に基づき設定しているところであり、標準化とは直接はリンクしていない。	樹谷専門官

御質問

6	アンケート回答者	BIM/CIM取り扱い要領の公開時期（予定）が分かれば教えてください。	令和7年2月に開催予定のBIM/CIM推進委員会において案を審議いただき、年度内に策定予定。なお、素案についてはR6年度第3回BIM/CIM推進委員会幹事会にて公表しており、資料は国交省HPで公表予定（現在準備中）。	榎谷専門官
7	リモート参加者	J-LandXMLで交換する土工数量の延長方向は各横断面の図心距離ですか、もしくは道路中心線ですか？	いわゆるカーブ補正という図心を使った計算が出来るように、計上延長という考え方を持っており、実際の線形の延長ではなく集計上の延長を保持できるようにしている。	OCF堀井理事
8	リモート参加者	J-LandXMLで掘削作業区分と岩級区分の両方持てるようになっていきますか？	両方保持している。	OCF堀井理事
9	リモート参加者	J-LandXMLで路盤や舗装の材料区分は属性に含まれますか？	J-LandXMLの中で各層の材料区分は保持している。	OCF堀井理事
10	リモート参加者	近い将来J-LandXMLではなく、IFC4.Xへ移行する可能性はありますか？	IFCと比較して、現在はJ-LandXMLの方がより多くの情報を引き継いでいるためJ-LandXMLを使用している。ただし、IFCも4.Xへの仕様拡張により今後活用できると思っており、いずれIFCに1本化される可能性はある。OCFとしては入れ物（ファイル形式）の問題ではなく、何を引き継ぐかが重要だと考えており、そこを考えながら仕様拡張を行っている。	OCF堀井理事
11	リモート参加者	地質・土質は統一された命名規則があるのでしょうか？岩級区分をみても同じ軟岩という名前では物性が違う事があるのではないのでしょうか？このような所から統一化しないとBIM/CIM化しても情報共有できないのではないのでしょうか？	地質、土質ともに命名規則はきちんと定義されており、JIS規格やJGS（地盤工学会）が定めたもの。ただし、ご指摘通り、例えば軟岩と言っても対象構造物や実施する機関によって用いる地質の種類・物性値は異なる。岩級区分については、その構造物のサイト毎に設定される様々な地盤評価の組み合わせからなる指標値であり、基準はそのサイト毎に決定されている。BIM/CIMに於ける標準化については講演1での質疑にて榎谷専門官にご回答頂いた通り、今後議論を進めるべき事項であると認識している。	OCF西山委員
12	リモート参加者	各ソフトで必要なPCスペックはどれくらい必要でしょうか？	ソフトごとに異なるため、各ソフトベンダーのHP等を確認頂きたい。 ※会場では後日整理して公開と申し上げましたが、各社システムが多様であるため、一覧での公開には無理があると判断させて頂きました。ご了承下さい。	OCF

御質問

13	リモート参加者	建設システムの「快測AR」でAUTODESK等、他社のソフトで作成したモデルを閲覧することは可能でしょうか。また、操作としてどのような工程が必要でしょうか。	<p><建設システム> 快測ARでの直接取込は不可。SITECH、SITE-NEXUS、SITE-STRUCTUREで一旦取り込んだ後、快測AR用のデータでの出力が必要。</p> <p>その他のAR/VRシステムとして以下を紹介。</p> <p><川田テクノシステム> 当社MR/AR/VRはCloud (basepage) を活用したシステムになっておりWEB (ブラウザ) で閲覧できるデータであれば閲覧可能。例えば、IFCやJ-LandXMLであればそのまま閲覧可能。他の形式 (DWG、FBX等) であってもV-nasClairで読み込み、V-nasClairのオリジナルデータ (BFOX) で保存すれば閲覧可能。</p> <p><福井コンピュータ> TerraceAR (株式会社ネクステラス) ではFBX取り込みが可能。DWGファイルの場合には一旦、TREND-COREで取り込んで出力する事で利用可能。</p>	建設システム 川田テクノシステム 福井コンピュータ
14	リモート参加者	Civil 3DからNavisworksへ入れた時にマテリアルが変更されてしまうのですが、Navisworksのレンダリングで修正するしかありませんか。	ご指摘通り。3ds Maxを介すると連携する事が可能。	オートデスク
15	リモート参加者	ほ場整備等の造成計画の場合、有効なソフト、活用方法はありますか？	<p><オートデスク> Civil 3Dの標準機能で対応が可能。</p> <p><福井コンピュータ> TREND-COREでは2D図面を置いて面に高さを与え、面同士の間を法を発生させる機能がある。</p> <p><川田テクノシステム> 造成に特化している訳ではないがV-nasClairでの汎用機能で土量計算等は可能。あるいはKUSSAKU_Kitという製品も使えると思う。</p>	オートデスク 福井コンピュータ 川田テクノシステム

国土交通省では下記の通りBIM/CIM Q&Aサイトを設置しております。

基準やガイドライン、あるいはデータ交換に関する
ご質問やトラブル等、
お気軽にお問合せ下さい。

<https://www.cals.jacic.or.jp/bimcim-help/index.html>

今後、取り組みが必要と考えられている事など



～200件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	極力、手をかけずに大枠でのBIM/CIM活用ができるようになる必要があると思う。3次元モデル作成にかかる費用が大きく、作業の必要性についての説明に業務の大半を割くこととなったりもしている状況なので、お互いに歩み寄って理解していく必要があると思う。
建設コンサルタント	設計において、現在は2次元図面を3次元化してBIM/CIMモデルを作成しているが、将来的には3次元で設計することが求められる。3次元測量や地質データの現地との整合性や設計と施工の整合性など、課題は山積していると感じるが、設計者、施工者、発注者、ベンダー等が協力して人づつ課題をクリアして前に進めることが必要であると思う。
建設コンサルタント	発注者支援業務におけるBIM/CIMの活用事例が欲しい。
建設コンサルタント	3次元設計したモデルから作成した2次元図面が主となれば、設計段階では効率化に繋がるので期待しています。設計段階で納品した成果品が、施工段階で利用できるようにする取り組みが必要だと思いました。
建設コンサルタント	道路詳細設計での三次元データ作成から数量算出迄の一連作業の効率化及び、人材の育成方法をどのように推進して行くかが課題となっている。
建設コンサルタント	点群処理から地形サーフェスの作成とストラクチャ、ソリッドモデルの作成はそれぞれ独立した作業は、各ソフトの機能を使って比較的容易にできるようには近づけられている。ただしそれぞれを融合・統合させるモデリングまでには至っていない。また、点数が億を超える点群では所有パソコンの処理能力を超えてしまい、思うような作業ができない。できることのイメージは積み重なってきているが、未だ、知識と環境面で弊害がある。
測量設計	小規模の建設コンサルタントに勤務している立場として、都道府県の建設事務所や市町村レベルでどの程度BIM/CIMが活用されていくかが現状では未知数なので、これから社内で協議しながらBIM/CIMに取り組んでいきたいと思います。
自治体	昨今、技術者の高齢化等により、ほ場整備等の設計や施工について技術者の技術力低下してきており、3次元設計やICT施工を取り入れることで、現状を改善できないか検討をしております。しかしながら、農林水産省関係のほ場整備やため池などの3次元設計についての情報が少なく、3次元設計が該当の事業について有効なものなのか判断できない状況にあります。

今後、取り組みが必要と考えられている事など



～200件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	令和5年度から国土交通省がBIM/CIM原則適用となった中、今後の地方自治体や市町の導入に向けての対応状況に興味を持っている
建設コンサルタント	分かりやすい基準の整備とソフト間の互換性。 2次元平面図の測量成果しかない箇所の3D化を求められる場合があり、モデル化が非常に困難です。特に詳細設計の場合の土工など、3Dでざっくり行い、詳細は2次元で考えないといけないという時代にそぐわないことをしています。3次元の発注をする場合は、地形も必ず3次元のものを貸与してほしいです。
建設コンサルタント	国土交通省の方が、i-construction2.の展望（本音）を語ってくださり、大変参考になりました。今後の動きを考察しやすいよいセミナーでした。
建設コンサルタント	現在のBIM/CIM業務においては設計において追加で3Dモデルを作成する「負担」となっている面が否めない。3Dモデルのみでの設計成果納品となるまでには課題が多くあることは十分理解しているが、目指すべき方向性を間違えないよう各ベンダー企業様やOCF様、発注者様には技術的な面も含めて、建設業界の生産性向上に向けて今後ともご尽力いただけますと幸いです。
建設コンサルタント	各ベンダーさんソフト間のデータ連携、IFC・Landxmlを介してのデータ復元性（どのソフトでも同じ表現になる）がスムーズにいくと良いと思います。
建設コンサルタント	電気通信設備に関する動向が気になっています 3Dの活用方法に関する情報収集をしたい。
建設コンサルタント	BIM/CIMにおいて、構造物(橋梁)の3次元設計が実現した時のモデルの整合不整合を確認する基準のようなものが必要になってくるのではないかと考えます。（これまでは2次元→3次元の順に作成していたため、3次元モデルが正しいか否かの確認は2次元図面を基にしていました。それが初めから3次元で設計するとなった時のモデルの正誤を確認できるようなものが必要になるのではないかと考えておりました。）

今後、取り組みが必要と考えられている事など

～200件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	<p>三次元モデルから二次元モデルを切り出すことは可能ですが、三次元モデルをいきなり作成するという設計スタイルは、ソフトが整備されている特定の工種（構造物）以外は、的に不可能であると思われます。</p> <p>というのも、構造物の設計をする際、まず、寸法をある程度決める必要があると思いますが、その検討は二次元の断面や平面図で当りを付ける必要があるからです。また、設計という行為は、各種基準に照らし合わせ妥当性を判断するため、ドキュメントを伴ったエビデンスが必要となり、それには図面のようなものが必要となるからです。</p> <p>このように、設計は二次元での作業が必要となりますので、いきなり三次元モデルを作成して、そこから二次元の図形や図面が切り出される、という作業手順のイメージがわきません。「三次元先行」の手順を“具体的に”ご教示いただければと思います。</p>
建設コンサルタント	<p>設計者と施工者のイメージのすり合わせが必要だと考えています。設計者がつくった3次元の図面が施工時にはあまり役に立っていないという話も聞きますので、どうすればそこがシームレスにつながるかを検討しないといけないと感じています。ただ、ビジネス的な面ではコンサル側がどうやってそこにかかる費用を回収するかを考えないと行けず、難しいところだなと感じています。</p>
建設コンサルタント	<p>今日の講演でも複数あったデータフォーマットの共通化による多要素での2・3次利用が、今後より進んでいくと建設業務全体の省力化となるが、測量設計段階での高負荷の割に発注価格には反映されていない。発注者にはそのバランスを考慮して頂きたい。</p>
測量設計	<p>BIM/CIMの統合モデルの標準形式の制定が必要かと考えます。</p>
建設コンサルタント	<p>3D化する労力に属人性が顕著に出てきているように感じている。この労力をAI等で自動化できたらより効率化が図られると感じています。よろしく願いいたします。</p>
建設コンサルタント	<p>使用ソフト同士の互換性、各ソフトの強みやどんな場面で使用されているかといった採用事例を端的にまとめた資料があるとよいと思います。</p>
建設コンサルタント	<p>設計と施工の分離体制から協働によるデータ連携が必要と考えてます。生産性向上には、必須と思います。</p>
建設コンサルタント	<p>BIM/CIMデータ容量が増加している中で、発注者の方の環境が対応していないと感じる事があります。ソフトウェアに関しては国の業務なので制約もあるかと思いますが、各ベンダーさんにご相談して、もう少し発注者の方の環境整備をされてもいいのではないのでしょうか。（発注者の方にもどんどんデータを触って使っていただき、双方向に生産性を上げれる環境を作っていければいいと感じます）</p>

今後、取り組みが必要と考えられている事など



～200件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	設計業務は原則BIM/CIM活用実施となっている中で、その作業・費用面は見えないため、取り組みに対する評価は最終成果や見た目のみで判断せざるを得ないことが多く、どうしても「低予算・高グラフィック＝高評価」に繋がりがちかと思われます。そのため、作業面や費用面について、特に標準単価が設定されていない分野に関しては、通常の設計と同様に積算基準等の設定がより一層求められていくのではないかと考えております。
建設コンサルタント	各ソフト会社の製品によって、数量などのバラつきが気になりました。使用するソフトによって数値が変わってしまうのは仕方ないと思うのですが、考え方（延長の計測方法など）を統一していただければと思いました。例えば、当初設計ではA社のソフトで作成したデータをB社のソフトで読み込んだとします。そうすると、変わるはずがない数量がかわってしまう。といった事象があるのではないのでしょうか。
建設コンサルタント	PC橋上部工に携わっています。鉄筋だけでなくPC鋼材の3D化について情報やソフトテクニックが知りたいです。
建設コンサルタント	現在国レベルが主導で進められているが、県レベルでも対応が迫られている状況である。 導入に関して多くの問題が有るが早急に対応する必要がある。
建設コンサルタント	これからソフト導入する予定ですが、どの分野にも対応できるオールマイティなソフトがないため、選考に苦慮しています。（弊社業務部門が3部門あるため）
建設コンサルタント	地質調査業務を担っている当社ですが小企業であることもあってBIM/CIMへの対応が遅れていて、人材育成や教育といった面でどこから手を付けていけばよいか分からない。いちからコンサルティング・教育してもらえらる機関や講習会等があると助かると思っています。
建設コンサルタント	地方における建設コンサルタントの業務ではいまだに3次元化やBIM/CIMにおける業務成果は求められておらず、発注者・受注者共に理解が進んでいない。今後の業務従事者の減少を考えると省人化・効率化が必須であり、そのためにも周知が必要となると考える。
建設コンサルタント	中小企業にとってBIM/CIMの導入はソフトのコストが高いイメージがあります。国の補助など優遇措置があれば導入が進むのではないかと思います。
建設コンサルタント	ほ場整備設計ではソフトウェア開発が必要と思います。ぜひこの分野の開発を進めてください。

今後、取り組みが必要と考えられている事など



～200件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	技術者への教育不足やITリテラシーの格差により、新技術の活用が進みにくい状況があるように感じます。また、中小企業ではDX導入にかかる初期投資や維持費が大きな負担となり、導入が遅れるケースも少なくありません。さらに、データの統一性やシステム間の連携不足が効率化を妨げています。これらの課題を解決するには、国や業界全体で教育・支援体制を強化したツールの開発が必要ではないかと感じます。
建設コンサルタント	BIM/CIM導入にあたっては予算が必要となるが、ソフトウェア1本では活用できない部分があるため複数のソフトウェア導入が必要となる印象を受けました。各ベンダー様には導入に当たっての必要ソフトとその概算経費（導入時や年間保守料）をセミナーで教えていただくと助かります。
建設コンサルタント	下水道分野はBIM/CIMに対する取り組みが遅れているためまだ他人事のようなつもりでいましたが、3Dのプレゼンを見てしまうと、対応していないと他社に対抗できないと感じました。
建設コンサルタント	膨大な量の既設インフラに対する維持管理（点検・診断・補修）の面におけるDXの取り組みが必要と考えます。
建設コンサルタント	セミナーでは大変貴重なお話しをお伺いする機会を頂き、勉強させて頂きました。建設分野（河川）についてのCIMについて、興味があります。積極的に取り組みたい一方で、費用の面、実際の操作の教育の面で導入が難しい部分がある事が一番の問題であると思っております。また、どの部分まで3Dデータが必要なのか、流動的な面があり、今一步踏み込めていない部分があるような状況です。
建設コンサルタント	発注者・弊社（発注者支援業務）・受注者間の知識や認識レベルがそろっていないと調整が大変。
建設コンサルタント	建設業界において、ここ近年すごい勢いで、DX（デジタルトランスフォーメーション）化が進んでいます。私たち中小企業の建設コンサルにおいては、ついていくことが出来ません。しかし、このまま淘汰されることを待ってはいけないと日々悩んでおります。今回の講演を機会に弊社でもBIM/CIMの導入を進めていきたいと思っております。
建設コンサルタント	BIM/CIM専属で社員を置くか、現場単位で個々が習得でき活用ができるかが今後の課題です

今後、取り組みが必要と考えられている事など



～200件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設会社	データ連携の話になると単純にCADシステムに留まらず、CDEやワークフローにも関係していくのでOCFという枠を超えた活動が必要かと思えます。
建設コンサルタント	BIM/CIMソフトが敷居が高い（難しい操作、高価など）イメージがあるが、本日のセミナーより印象が変わりました。今後は職員がBIM/CIMに携わるきっかけとなるような話題提供があればよいと思いました。
建設コンサルタント	発注者との協議時に2Dではなく3Dで説明する方が理解力が増しスムーズに協議が進むと感じた。現在埋設管の施工ステップを作成しており3Dにすると管の離隔や人孔の位置が一目でわかるので今後活用することが望ましいと感じた。
建設コンサルタント	当方は建設コンサルです。社内展開するべく、ソフト環境を整え、勉強会もしましたが『設計技術の仕事とソフト操作スキル習得は難しい、若手は設計を覚えるのが優先』という意見が強く、なかなか浸透することないままです。枡谷様より「調査設計は遅れている」というお話がありましたがその通りだと思います。調査設計の自動化に取り組むなど、管理職もIT系のセミナーを必須にしてほしいと考えています。
建設コンサルタント	まず今回の講演を拝見して、当社のBIM/CIMへの対応が非常に遅れていることを実感しました。ソフト関係は充実しているものの使用できる人が限られていることが挙げられます。世間では思った以上にBIM/CIMが進んでおり置いてかれているようでした。BIM/CIM等の知識を得る建設コンサルタントの横のつながりはもとよりOCFの各社にお世話になって知識を得ていきたいと思えます。

ご意見・ご要望など



～145件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	特定のOCFの会社と付き合いがあるが他の会社とも情報を交換していきたい。建設システムやJIPテクノシステムの情報は非常に興味があり具体的説明をいただきたいと思いました。次のセミナーは会場に行き各社と交流を持ちたいと思います。
建設コンサルタント	講演1にありました、2次元図面と3次元データの整合性チェックにおいて、例えば道路側溝が道路中心線と並行でない場合等、横断面と3Dデータの断面とで違いが出てくると思います。このような場合の整合性チェック方法等、検討する必要があるのではないかとと思いました。
建設コンサルタント	講演1で今後の方向性や現状の取り組みを聴講でき、現状や課題など大変勉強になりました。BIM/CIM積算を活用したいと思いました。様々なソフトを紹介していただき、今後の業務で参考にしたいと思いました。
建設コンサルタント	主に新設道路や構造物を対象に事例紹介があったが、図面のない橋梁補修設計等の省力化について対応可能なソフトがあれば知りたい。
建設コンサルタント	BIM/CIMを含めた電子納品を作成する立場として、本日のセミナーに参加させていただきました。BIM/CIM成果品の分析結果報告は大変参考になりました。 社内で資料を回覧して今後のBIM/CIM業務の参考にさせていただきます。本日はありがとうございました。
建設コンサルタント	3D化についてAI等を駆使（いままでの作図過程をAIが学習できないか）して自動化を目指してほしい。建設部門でAIを駆使した事例を取り上げてほしいです。よろしくお願いいたします。
建設コンサルタント	去年に引き続きセミナーに参加させていただき、ありがとうございました。これからのBIM/CIMの動向についてや、私自身あまり詳しくない積算に関連したお話を興味深く聞くことが出来ました。また、BIM/CIMソフトについては、私自身が使用しているソフトの他にも興味を持ったソフトの説明を聞くことが出来てとてもためになりました。これからもこのようなセミナーを開催していただきますようお願い申し上げます。
建設コンサルタント	発注者側からの運用の方針説明は大変勉強になります。今後とも続けていただけると嬉しいです。
建設コンサルタント	情報をわかりやすく説明していただきありがとうございます。 IFCとLandXMLは今後も情報が必要になるため、最新の情報と今後の動向を引き続き確認できる場として聴講できたらと思います。

ご意見・ご要望など



～145件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	技術者の教育や研修を充実させることが不可欠です。新技術の導入とともに、情報共有や技術交流をさらに促進するためのプラットフォーム（オンラインフォーラムやウェビナーシリーズなど）の充実を希望します。特に、他社との連携や調整の事例があれば知りたいと思いました。
建設会社	施工会社の施工担当者による取り組み事例も聞いてみたい。
建設コンサルタント	オンラインセミナーは地方で聴講するのは有効な方法で有りがたいです。
建設コンサルタント	セミナー資料の公開が有ると聞きましたので、その資料を基に社内で勉強会を開きたいと思います。ありがとうございました。
建設コンサルタント	BIM/CIM成果品の分析結果報告はとても知りたいところだったので興味深く拝見しました。今後もこういった情報を配信してほしいです。
建設コンサルタント	発注者側、サポート側等の意見が聞けて良かったです。情報があまり入手することができない状況の中、発注者側がどのような状況でどのように向かっているのか、今ある現状でのできることを自ら探すことなく比較しながら合うソフトを模索できたりと、本当に優位な時間でした。これから先、自分の仕事の方向性を見出すこともできたと思います。またぜひ開催していただけたらと思います。ありがとうございます。
建設コンサルタント	J-LandXMLのフリービューを公開してほしい。
建設コンサルタント	資料から得る情報よりも、肉声より得る情報の方が理解しやすいと感じます。定期的なセミナーがあれば是非視聴させていただきたいと思います。
建設会社	セミナーでお話のありました、ヒートマップデータをARに重ね合わせ、現場検定の時に検査官様に確認いただきましたが、従来のヒートマップデータによる出来形合否判定総括表ありきの検査となっております。今後の竣工検査のマニュアル改正など発注者様のご対応に期待いたします。 また受注時に設計参考資料として3D データやBIM/CIMデータをいただくことが出来ましたら、スムーズに施工に取り掛かれると思います。
建設会社	今回初めてOCFさんのセミナーに参加しましたが、非常に勉強になりました。今まで参加できていなかったのが非常に残念に思います。ぜひ次回も参加させて頂き勉強させて頂きたいと思います。本日はありがとうございました。

ご意見・ご要望など



～145件ほどのご意見を頂いておりますが、その一部を公開させていただきます～

建設コンサルタント	今回、初めてOpen CIM Forum/OCFを聴講しましたが、自分の知らない情報がたくさんあり、非常に有意義な講演でした。受講してよかったと感じています。今回の講演で紹介されたソフトや今後のBIM/CIMの展開などを社内に水平展開したいと思います。講演ありがとうございました。
建設コンサルタント	今回での講演も多種多様にわたり、濃い内容と感じました。現在、既設のコンクリート構造物等の損傷・劣化に伴い、更新・補修などの維持管理に関する対策が重要となっていると感じます。今後、これらに関する講演もお願いしたい。
建設コンサルタント	CIMの地形モデルをサーフェスとするのではなく、点群を前提とした地形へ計画出来るソフト開発をお願いします。道路占用ソフトを使用しない、市町レベルの設計図についてもJ-LandXMLへ対応できるようお願いします。
建設コンサルタント	会場での質問でも多かったが、各ベンダー様のソフトの互換性をもっとあると良かったりするのかもしれないね。発注者側のPCのスペックが低いため3Dが見れないなどの事象もあります。このため、データの軽量化の方策も教えていただけるとありがたい。
建設コンサルタント	今回の講習も大変参考になりました。BIM/CIMが普及している中、心苦しいですが、若手技術者やこれからBIM/CIMに取り組もうとしている技術者向けの講習会などありましたらご案内いただくと幸いです。
建設コンサルタント	現状のBIM/CIMのダイレクトな講和を聞いて、イメージが付きました。今後、これを参考にさせてもらい、人材の確保、育成を検討する材料にしたいです。

アンケートのご協力、誠にありがとうございました。

また、セミナーに関するご賛同のご意見を多数いただきました事、
大変、嬉しく思っております。

今後も継続開催出来るよう活動して参ります。

BIM/CIM委員長